

■ 都市景観資源及び景観重要建造物の解説

No	タイトル	画像	指定 (指定日)	解説	備考
1	若戸大橋と洞海湾		都市景観資源 (平成25年12月13日)	<ul style="list-style-type: none"> 建設当初、「東洋一の夢の吊橋」といわれ、平成24年に開通50周年を迎えた。洞海湾に架かる赤い橋は北九州市のランドマークとなっている。 	若戸大橋が重要文化財に指定されたため、「景観重要建造物」の指定解除(令和4年2月22日)
	所在地：戸畑区・若松区				
2	朽木ビル		都市景観資源 景観重要建造物 (平成25年12月13日)	<ul style="list-style-type: none"> 1920年当時では珍しい鉄筋コンクリート造を採用し、超モダンな建築であった。若松南海岸通り(若松バンド)に位置し、洞海湾の風景に調和している。 	
	所在地：若松区本町一丁目15番10号				
3	八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場	 ※新日鐵住金(株)八幡製鐵所提供	都市景観資源 景観重要建造物 (平成25年12月13日)	<ul style="list-style-type: none"> 100年以上前の官営八幡製鐵所創業時に建設された3施設(和洋折衷の赤煉瓦組積造の旧本事務所、当時のドイツの製鐵会社の設計・鋼材による鉄鋼建築である修繕工場、旧鍛冶工場)の外観と機能的な配置が創り出す、我が国産業の近代化の歴史を今に伝える景観。 	平成27年7月世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産 ※非公開施設
	所在地：八幡東区大字枝光及び大字尾倉				
4	門司港駅		都市景観資源 (平成25年12月13日)	<ul style="list-style-type: none"> 日本で初めて国の重要文化財に指定された駅舎建築であり、ネオ・ルネッサンス様式の木造建築物は門司港レトロを代表する建築物である。 	
	所在地：門司区西海岸一丁目5番31号				
5	九州鉄道記念館		都市景観資源 (平成25年12月13日)	<ul style="list-style-type: none"> 特徴的な煉瓦の積み方により、建物の美観が高められている。強調された水平線、三角屋根の対比、赤い煉瓦の壁面は、往時の面影を残しており、門司港レトロ地区の重要な景観要素となっている。 	
	所在地：門司区清滝二丁目3番29号				
6	北九州銀行門司支店		都市景観資源 景観重要建造物 (平成25年12月13日)	<ul style="list-style-type: none"> 昭和9年に完成した鉄筋コンクリート造の建築物で、デザインは英国風古典主義のモチーフでまとめられ、当時の銀行建築の特徴である重厚な外観を有している。 	
	所在地：門司区清滝二丁目3番4号				
7	NTT西日本門司ビル		都市景観資源 景観重要建造物 (平成25年12月13日)	<ul style="list-style-type: none"> 門司における最初のモダンなデザインの建築物で、放物線アーチと垂直線を基調とする建築物である。 	
	所在地：門司区浜町4番1号				
8	石炭会館		都市景観資源 景観重要建造物 (平成25年12月13日)	<ul style="list-style-type: none"> 石炭の積み出し港であった若松の歴史を象徴する木造2階建ての建築物である。外装はモルタル塗りで平坦な壁面は目地を多用し、石造風の表情が特徴的である。 	
	所在地：若松区本町一丁目13番15号				